

第6回府中市市民活動推進協議会 会議録

(要旨)

- 開催日時 平成23年12月1日(木)午後2時から4時半
- 開催場所 府中市役所北庁舎3階第4会議室
- 出席者 朝岡会長、山崎副会長、佐藤委員、金子委員、長島委員、西埜委員、久保田委員、中嶋委員、竹内委員、横野委員、津田委員、堺委員
- 欠席者 石井委員
- 傍聴者 4名
- オブザーバー 松木府中NPO・ボランティア活動センター事務局長
- 事務局 中川市民生活部次長兼市民活動支援課長、岩田市民活動支援課長補佐、竹内支援係長、内藤事務職員、鷹野事務職員
- 議事 開会
会長挨拶
会議録の確認について
議決事項
 - 1 再開発ビルの施設計画の変更の検討に伴う公共公益施設のレイアウトの変更について
 - 2 その他
- 資料
 - 1 第5回府中市市民活動推進協議会会議録
 - 2 5・6階平面図(B12案)
 - 3 平成24年度市民活動推進協議会開催予定

まず、平成23年10月31日に実施された第1分科会による武蔵野プレイスの視察について、座長より報告がなされ、各委員から次のとおり発言があった。

(委員) 武蔵野プレイスは武蔵境駅前に新しくできた複合施設で、本や活動を通じて人々が出会い、交流を生み出す公共施設である。図書館機能が軸になっているのが特徴で、館内の回遊性を重視し、本を軸として市民活動や生涯学習、青少年活動などが展開されるようになっている。建物のコンセプトが確立している施設であり、独立採算を行っている。我々がつくる施設においても、できるだけコミュニ

ティビジネスに対する部屋貸しや起業の支援をする機能なども必要であるとする。

(委員) 図書館機能を組み込む仕組みが面白いと感じた。青少年活動支援フロアにおいて、専門のスタッフが利用者に声かけをする仕組みがよいと思う。ワーキングデスクがSOHOになるのであれば、人がつながる場にもなる。例えば、青少年と起業を目指す人がつながる場が生まれれば大変に面白い。府中市の新施設においてはスペース的な問題で青少年活動支援機能を組み入れることは難しいかもしれないが、NPO団体をロビー等でつなげられるようにしたい。まだ組織化はされていないが、館内のボランティアが集まる場として専門の部屋が設置されている。このような形によって青少年のひきこもり対策などをNPOやボランティア活動により実施することができると思う。

(委員) 市民活動フロアに登録しているのは150団体とのことである。コムナーレと同じような機能もあった。青少年機能は子どもたちにも使いやすいと思われる。図書館機能が各階にあることから、施設を総合的に多分野にわたって使用できる。施設のPRがうまく、資料も整えてある。新施設を作るのに際し、我々がどこまでコンセプト等を作れるのかが重要である。武蔵野プレイスは若者向けの造りであったが、府中市の新施設については高齢者にも使える施設にしたい。カフェを併設し、気軽に来館できる魅力があった。

(府中NPO・ボランティア活動センター事務局長)

設備は整っているが、ソフトはこれからという印象を受けた。施設と団体とのかかわりもこれから構築していくのだろうと思われる。

(会長) 居心地のよい施設であると感じる。雰囲気と機能を一緒につくる必要がある。府中市内に青少年向けの施設はあるのか。

(事務局) 生涯学習センターでは、青少年向けの講座を行っている。また、バンド練習用のスタジオもあり、稼働率がよい。しかし、青少年専用の施設は存在しない。

(委員) 府中市の中央図書館では、フロア内に読書用の椅子が少なく、本

を持ったまま、ワーキングデスクに入ることもできない。武蔵野プレイスではどうなのか。

(委員) 図書の館外貸出機があるのは1階のみであり、館内での図書の持ち運びについては制限がない。

(委員) 年間運営経費、青少年アドバイザーの人数はどれくらいか。

(事務局) 年間経費は人件費を含めて約5億円である。視察時に勤務していた青少年アドバイザーは2人であったが、青少年が来館する時間帯は配置人数を増やして対応しているとのことであった。施設全体の職員は市からの出向を含めて12人、事業団の正規職員が6人、嘱託職員が49人で、うち39人が図書館業務を担当している。

(委員) 貸し出しスペースについては、府中市のように登録団体による先行予約は可能か。特に青少年支援施設について、発表会等を控えて施設予約をしたい子どもと、予約なしに立ち寄って施設利用する子どもとの均衡はどのように保っているのか。

(事務局) 各フロアともに、事前予約なしに使用できるスペースが多い。青少年支援機能については、音楽練習室やダンス練習室などの用途が限られた部屋以外はフリースペースである。

(委員) 青少年支援機能は充実しているようだが、高齢者向けの機能はあるのか。

(事務局) 高齢者に特化した機能はないが、図書館機能があることから高齢者の利用も多い。

(委員) 視察したのが平日の昼間だったこともあり、シニアの利用者も多く見かけた。

(会長) 部屋貸しをしている普通のコミュニティセンターとは違い、オープンスペースが多いので多様な年代の市民が利用している。武蔵野市では各地区にコミュニティセンターが設置されているので、高齢者の活動が市中心部に集中することもなく、武蔵野プレイスもコミ

コミュニティセンターとの住み分けができている可能性がある。

(委員) 武蔵野市にはコミュニティセンターが市内に20か所あり、市による設置ではあるが市民による運営が行われている。

武蔵野プレイスには総合受付はあるのか。また、入館者のチェックは行っているのか。

(委員) 総合受付は1階にあるが、入館証の交付等に行っていない。誰でも施設に入ることができる。

(会長) 我々がつくる施設よりも駅から距離があるにもかかわらず、周りに公園があり、誰でも気軽に入れるように設計されている施設である。

(委員) 夜10時まで開館している。午後5時からは1階ラウンジでアルコールが提供されている。いかに市民が立ち寄りやすい施設をつくるのが重要であると感じる。

議決事項

1 再開発ビルの施設計画の変更の検討に伴う公共公益施設のレイアウトの変更について

まず、事務局から再開発ビルの施設計画の変更の検討に伴う公共公益施設のレイアウトの変更について説明がなされ、各委員から次のとおり発言があった。

(事務局) 再開発組合より、駐車場の搬入路やエスカレーター等の配置変更等の検討がなされたことに伴い、5階・6階のレイアウトについても変更が必要となる旨の申し出があった。特に、ホールの大まかな位置やエスカレーター、水周り等の位置、吹抜けの形状等、以前の説明において当協議会では変更ができないとされていた箇所についても配置変更があり、組合側からの申し出では、年内に配置の確定を行うとのことである。については、本日の協議会においてこれらの配置等についての意見をいただきたい。

図面上の変更点は次の通りである。

- ・ビルのデザイン変更に伴い、前回の図面に比べて、柱の間隔が若干狭まった。

- ビルの1階から5階をつなぐ階下からのエスカレーターの配置が、ビル全体の回遊性を向上させるため、5階の北東側から中央部に変更された。それに伴い、地域交流ロビーと喫茶サロンを北東側に配置した。
- 施設北東側と小ホールのホワイエ北側の壁面がガラス張りになり、外の見晴らしを確保することが可能になった。
- 前回の図面では6階に配置していた喫茶サロンを、小ホール来場者の利用を見込むと同時に地域交流ロビーとの一体的な運用を行うため、5階に配置した。
- 総合情報センターの機能を施設西側に配置することにより、会議室の数は減少したが、ロビーの面積を増やして施設全体の開放感を確保した。
- 総合情報センターと会議室の西側壁面には、腰窓が設置される。
- 総合受付と施設管理者事務室を施設中央部に配置し、5・6階をつなぐエスカレーターを南側に下げることで、ロビーの開放感を確保するとともに、階下からのエスカレーターとの距離をそれぞれ短縮した。
- 階下からのエスカレーターの南側にエレベーターが新たに設置されたことにより、施設中央のトイレが施設の西側に移動した。
- 6階においても、エレベーターの影響で中央にあるトイレの位置が若干変更されたので、キッズスペースと授乳室を施設北東側から南西側に移動し、会議室ゾーンに隣接させるとともに、キッズトイレをキッズスペース脇に新たに設置した。
- 講習室を国際交流サロン側から会議室ゾーンに移動することで、和室の面積を拡大し、多用途に対応できるようレイアウトを変更した。

なお、今回の協議会では次の点について決定していただく必要がある。

- 5階と6階をつなぐエスカレーターがこの位置でよいか。また、階下からのエスカレーターと接続しなくてもよいか。
- トイレ、5階の喫茶サロン、総合情報センター、6階の商品テスト・料理教室の位置は、概ね図面のとおりでよいか。他に水周りやガス管を配置する必要はないか。
- 吹抜けはこの位置と形状でよいか。
- 小ホールは概ねこの位置でよいか。

- (会 長) 今回は、建物全体の設計変更に伴う、トイレ等の水回り、エスカレーター、エレベーターの位置の変更案について協議したい。なお、今回の変更案では、5階の総合情報センターが当初案よりも壁際に移動したため、5階フロアの中央にオープンスペースを確保することが可能となっている。また、小ホールについては、ホール全体の位置は変更しないが、舞台や客席等の小ホール内部の配置はホールの使用方法に伴い変更する可能性がある。
- (委 員) 最も大きい機能である小ホールがフロアの隅にあってよいものか。小ホールの場所をフロア中央に移すのがよいと考える。
- (委 員) 南側エレベーター前のエレベーターホールが大変狭く、使いにくい。また5階にある2か所のエスカレーターの上に総合受付窓口が配置されているが、この施設の目玉である割には狭いのではないか。
- (委 員) 5・6階をつなぐエスカレーターがフロアの中央にあるので、フロアを活用するために位置を変更させた方がよい。
- (委 員) 駅からの導線や車の搬入経路を知るために、4階までの図面が必要である。例えば、小ホールで使用する荷物の搬入経路を考慮しないと、楽屋の配置を決めることができない。また、施設管理者事務室がフロア中央に必要なのか。中央スペースを広く取るためには事務室を端に寄せるのがよいが、事務所がフロアの安全管理のための監視機能を担っていることも考慮すべきである。
- (会 長) 5・6階の活用を議論するためには、ビル全体の情報が必須である。ビル全体の概要がわかる基本的な資料を用意してほしい。
- (事務局) 公共交通機関の利用者は、ビルの北側にある府中駅から駅前広場を経由して来館するので、施設北側のエレベーターを利用する。また、駐車場からの来館者は、施設南側にあるエレベーターを利用する。また、舞台への搬入は、施設南側にある荷捌用エレベーターを利用する。
- (委 員) 荷捌用エレベーターは、小ホールのバックヤードへの導線はよい。しかし、来館者用エレベーターについては、小ホールを利用するには便利である一方で、他の施設を利用するには不便である。

- (事務局) 以前の図面ではエレベーターは施設北側にのみ設置されていたが、今回の修正案で施設南側にも増設された。5・6階以外の図面については、再開発組合の総会で承認を得た後でないと公表ができないと聞いている。
- (委員) 当協議会に提供していただく他階の図面については、詳細な情報は不要である。駅や周辺施設、けやき並木通りから館内に通じる導線がわかる資料をいただきたい。
- (会長) 周囲の街並みがわかるビル完成後のイメージ図も用意してほしい。
エレベーターについては、今回、施設南側に1基増設されたこともあり、利用上の支障が解消されたので、これ以上の審議は不要である。5・6階をつなぐエスカレーターは階下からのエスカレーターとは接続していないが、エスカレーターの位置を変更することは可能か。
- (事務局) 階下からのエスカレーターは1階からつながっているため、位置の変更はできない。5・6階をつなぐエスカレーターの位置は今回の協議で変更することも可能である。5・6階をつなぐエスカレーターと階下からのエスカレーターとを分離することで、利用者が施設管理者事務室の前を通らずに6階へ行くことを防ぐと同時に、施設の回遊性を確保することが可能となる。なお、5・6階をつなぐエスカレーターを階下からのエスカレーターに接続することも可能である。
- (委員) 館内のスペースをより広く確保するのであれば、エスカレーターはフロアの中心に配置しない方がよい。また、小ホールとロビーの位置を入れ替えるという提案についても結論を出す必要がある。
- (委員) 6階の会議室を利用する場合には、必ず、5階で鍵を借りることになるので、あえて事務所の前を通さなくてもよいと考える。
- (委員) 6階の会議室は、内壁を必要に応じて取り外しが可能な間仕切りにして、複数の部屋を連結した大きな一部屋として使用することが可能になるのか。
- (委員) 会議室については、今後も検討を続けることが可能である。例えば、若者を対象とした設計にしたり、小ホールを多目的ホールとして

活用したりするのであれば、あえて会議室を細かく仕切る必要はないと考える。

(委員) フロアを広く活用するために、5・6階をつなぐエスカレーターは、フロア中央ではなく事務室の横に設置してはどうか。

(委員) 以前の図面に比べて、総合情報センターの面積が大きくなったように感じるがどうか。

(事務局) 今回の図面では、総合情報センター全体の面積は変わっていないが、縦横の比率を変更している。

(委員) 5・6階をつなぐエスカレーターを階下からのエスカレーターに接続すれば、5・6階のフロアが広く使用できる。

(委員) 7階より上は住宅用フロアなので、エスカレーターは6階止まりであり、上の階に延長する必要はないと考える。

(委員) 階下からのエスカレーターに5・6階をつなぐエスカレーターを接続すると、6階のエスカレーターの昇降口が現在のトイレが配置されている位置にできるので、トイレの位置を変更することになる。6階の吹き抜けは上手に活用されているので、6階を会議室ゾーンとするならばエスカレーターの配置は現状のままがよいと考える。

(委員) 6階の南側トイレと吹き抜けの位置を交換してはどうか。

(事務局) 周辺に給排水設備がある位置にはトイレを移動することが可能である。

(委員) 6階の吹き抜けをなくすことは可能か。

(事務局) 吹き抜けの総面積の変更は保留床の購入金額に影響するので、なくすのは不可能である。ただし、位置や形状は変更することが可能である。

(委員) 喫茶サロンの天井を吹き抜けにするのもよいと考える。

(委員) 企画室の用途は何か。

(事務局) 府中グリーンプラザの展示ホールで開催されているような、団体や企業の展示会等を想定している。なお、企画室の壁を取り外してロビーと一体使用することなども想定しており、多目的な使用方法が考えられる。

(委員) この図面だけを見て、会議室をたくさん作る必要があるというような先入観を持たない方がよい。また、施設全体のコンセプトを丁寧に作る必要がある。例えば、この施設が主な利用対象を高齢者よりも若者に定めているのであれば、間仕切りがある会議室をたくさん作るよりも、オープンスペースを増やしたり小ホールにつながるスタジオ等を設置したりする方がよい。エスカレーターの位置についても、施設管理者事務室が5階から6階へ向かう利用者を監視する必要がないと仮定し、5・6階をつなぐエスカレーターを階下からのエスカレーターに接続した場合には、フロア中央には吹き抜けのみが残ることになり、ホワイエとフロア中央との導線が悪くなる。また、6階南側のトイレの位置を変更した上で、ホワイエ北側の吹き抜けをどこに移すのかも問題になる。例えば、6階東側の壁面はガラス張りなので、喫茶サロンの天井に吹き抜けを設置して採光を図ることも考えられる。様々な可能性を考慮した上で、エスカレーターの位置を決定したい。

(委員) フロア中央に吹き抜けがあれば、5階ロビーは明るくなるのではないか。

(委員) 採光の効果は低いと思われる。

(会長) 採光は図れなくとも、開放感は確保できるものと考える。

(委員) 階下からのエスカレーターに5・6階をつなぐエレベーターを接続した場合、フロア中央の吹き抜けを小ホール寄りに設置して中央にオープンスペースを設置するのはどうか。

(会長) その場合、ホワイエの活用が困難になるので、ホワイエの上の吹き抜けを移動することになる。なお、吹き抜けの東側には階段がある

ので、そちらに移すことは困難である。会議の冒頭で提案された、小ホールとロビーの位置を入れ替えるのがよいとの意見にも関連するので、ご意見をいただきたい。

(委員) 小ホールでの催し物が終了した後、観客が一斉に階下へ降りることになる。その際に退場する観客が一か所へ集中しないよう、階下への導線を分散する配慮が必要となる。具体的には、エレベーターとエスカレーターのどちらも利用者が選べる状態にするのがよい。

(会長) 小ホールの観客が退場するための導線については3か所設置されており、よく考慮されていると言える。

(委員) 小ホールとロビーの位置を入れ替えるのは難しいと思われる。

(委員) エレベーターとエスカレーターの位置を考慮すると、小ホールの位置は今回の図面の案が最適である。

(会長) 5・6階をつなぐエスカレーターを図面どおりフロア中央に設置するか、階下からのエスカレーターに接続するのか、接続した場合には吹き抜けをどこに移動するのかについて決定をしたい。

(委員) 吹き抜けの位置を決定するに当たり、耐震性を考慮する必要があるか。

(委員) 吹き抜けの位置を変更した場合には、改めて構造計算をするので、ここでは耐震性まで考慮する必要はない。また、エスカレーターについては、ルミエール府中のように、5・6階をつなぐエレベーターを階下からのエレベーターの降り口の先に設置し、4階から6階をエスカレーターで一直線につなぐ案も提起したい。

(会長) 同じくエスカレーターについて、5・6階をつなぐエレベーターの代わりに階段を設置する案を提起したい。視察したさいたま市コムナーレにも、エスカレーターはなかった。そもそもエスカレーターを設置する必要性はあるのか、また、それに合わせた吹き抜けの位置についても検討願いたい。

- (委員) ルミエール府中のエスカレーターは3階まで直線状に配置されているため、図書館への導線がスムーズである。5・6階をつなぐエスカレーターが階段になった場合、若い方にはよいかもしいないが、高齢者には使いづらいのではないか。
- (委員) そもそも、車いすやベビーカーを利用する方はエスカレーターを利用することはできないので、代わりにエレベーターを利用すると考えられる。
- (委員) 6階の利用者は、5階の総合窓口の前を必ず通らなければならないのか。そうでなければ、5階を経由せずにエレベーターで6階へ直接向かうことも可能なので、5・6階をつなぐ導線がエスカレーターである必要はないと考えられる。
- (委員) エレベーターは、6階より上の階にも行くのか。
- (事務局) 公共施設用のエレベーターは6階より上には行かない。7階よりも上に行くためには、別に設置されている住宅用エレベーターを利用する必要がある。
会議室が6階に配置された場合には、鍵の問題が発生することも考慮していただきたい。例えば、鍵の貸出カウンターを6階にも設置する場合には、管理運営の問題が発生することになる。
- (委員) 電子ロックなど、鍵の貸出カウンターを必要としない設備も存在する。
- (委員) カウンターに鍵を借りに来るのは、会議室利用者のうちの1人だけである。また、施設管理者事務室を5階に配置しても、安全管理などの面から6階にも人員を配置する可能性もある。
- (委員) エスカレーターを2か所に分離した目的は何か。
- (会長) 施設管理と回遊性のためである。来館者が施設管理者の前を通り、フロア内を迂回することによって団体をPRする効果を見込んでいる。

- (委員) 会議室の利用者は直接6階へ向かうことが多く、デパートのように、他の階に寄りながら目的の階に行くことはあまりないと思われる。
- (委員) NPO・ボランティアまつりのような全館イベントの場合を除き、5・6階を行き来することはあまりない。企画室もこの位置で集客を望むのは難しいと思われるので、エスカレーターは不要ではないか。
- (会長) 第1分科会が視察に行った武蔵野プレイスにもエスカレーターはない。
- (委員) 利便性を追求するのか、あえて利便性よりも回遊性を持たせるのかを協議すべきである。利便性を追求するのならば、エスカレーターを設置するのがよい。また、回遊性を追求する際に、5階だけの回遊性を考えるのか、5・6階を含めた回遊性を考えるのか。私としては、5階の回遊性を担保すれば十分であると考え。6階に行くのは会議室の利用者のみであるから、回遊性は不要である。6階で企画を行わないのであれば、5階に回遊性を持たせて小ホール来場者が市民活動に参加するきっかけをつかめる仕組みをつくれればよい。
- (委員) 展示会場として5・6階の両方を使用するのであれば、6階への回遊性も必要である。
- (会長) 5・6階をエスカレーターでつなぐ利点は、5・6階をたくさんの方が行き来することで生かされる。しかし、6階に来るのは会議室の利用者が大半であると想定されるように、5階と6階の利用者層は異なると考えられる。また、NPO・ボランティアまつりなど、5・6階全体を使用するイベントは日常的に行われるわけではない。よって、5・6階の間を大勢の人が移動するということはあまり想定しなくてもよいのではないか。そこで、図面のとおり、5・6階をつなぐエスカレーターを階下からのエスカレーターから分離して設置し、来館者がフロア内を回遊するようにした方がよいのか、また、採光を考えて吹き抜けをガラス面の近くに設置する方がよいのか、意見をいただきたい。
- (委員) 一度設置したエスカレーターを再度撤去するのは難しいが、当初の設計にないエスカレーターを増設するのはさらに難しいと思われる。

るので、長期的視野が必要である。また、5・6階は使用目的が異なり、例えば多くの利用が見込まれる若者層は、主に5階を使用するものと思われる。一方で、6階は市民が実際に活動する拠点とするのがよい。よって、5・6階を行き交う導線は不要と考える。

(委員) 日常的には5・6階を行き交う導線は不要と考える。しかし、小ホールに来る約300人の観客が退場する際には、そのほとんどがエレベーターを待たずにエスカレーターを使うことが想定される。その場合、1階から5階までしかエスカレーターが通じていないのは不便であり、階下からのエスカレーターを6階まで延長するのがよい。その上で、5階フロア中央は展示スペースとして活用すべきであると考ええる。

(委員) 6階の利用者が限定されているとしても、5・6階は一つのコンセプトのもとに運営するべきなので、あえてつなげるのもよいのではないか。フロアを分断することには違和感を覚える。また、エスカレーターが最良とは限らず、螺旋階段等の代替案も考えられる。その際には、エレベーターのような箱の移動ではなく、人や風が動くようなつながりを見せたい。

(会長) エスカレーターをやめるとしたら、階段にせざるを得ない。

(委員) 5・6階をつなぐエスカレーターを設置しないのであれば、階下からのエスカレーターのそばに階段があるのが前提となる。ロビーは広くなるので、5・6階をつなぐスムーズな導線としてどこかに階段を配置したい。

(委員) 5・6階をつなぐエスカレーターは不要であると考ええる。例えば、階段の下に生じるデッドスペースに総合受付を設置すれば、ロビーを広く使用することができる。また、企画室は6階にあっても集客が困難なので、展示物が来館者の目に触れるように5階の総合受付の前で自由に展示ができるとよい。

5・6階は分断されるのではなく、役割分担が明確になると考える。5階は施設の看板に相当し、掲示物や団体活動を一般の来館者に見せるフロアである。一方、6階は目的を持って来館する方のためのフロアにするのがよい。

- (会 長) 階段の下に生じるデッドスペースに受付を設置するという新しい提案があった。参考までに報告すると、最近では階段の下にデッドスペースが生じないように、螺旋状の階段を設置する例が増えている。
- (委 員) 直線階段の下に受付が設置されている例として、杉並区の方南小学校が挙げられる。ここでは、階段下に図書館の受付が設置されている。
- (委 員) 建物内のアクセスのよさを優先するのであれば、階下からのエスカレーターを6階まで延長するのが最良である。
- (委 員) エスカレーターでも階段でもよい。しかし、重要なのは5・6階に共通するイメージをどう生み出すのかである。5階で待ち合わせて6階へ行くような流れを形成すべきであると考え。利用者が直接6階へ行かないよう、団体紹介を人目に触れる場所で実施したり、ホワイエを活用したりするなど、5階そのものの工夫も必要である。
- (委 員) 図面の配置では、人が集まる場所と集まらない場所が生じる。よって、5階と6階の機能を組み替える必要があると考える。小ホールは5階に配置したままで、総合受付や喫茶サロンなどを6階へ移動することも考えられる。5階も6階も駅と接続している2階からは離れており、利用者にとってはどちらもそれほど利便性に差はない。原案のままでは、6階が人気のない暗いフロアになると思われるので、5・6階の両方が明るくなるよう、各フロアの機能を組み換えるなどの根本的な見直しも必要と考える。
- (会 長) 小ホールと総合情報センターの位置を動かさないことを前提とした5・6階の機能の入れ替えは可能か。
- (事務局) 可能である。
- (委 員) 5・6階は一体的な意味合いを有する同じユニットであることから、エレベーターだけではなくエスカレーターもあってしかるべきであると考え。
- (会 長) 各委員から、5階から6階へ素通りしてしまうのはよくないが、

必ずしもエスカレーターである必要はなく、階段でもよいという意見が多いように見受けられる。私見ではあるが、エスカレーターにはない開放感を、階段が作り出す可能性がある。よって、5・6階の一体感を出すためにも、5・6階をつなぐエスカレーターの代わりに5・6階をつなぐ階段を設置するものとする。提案のあった5・6階の機能の入れ替えについては、後日検討する。次に、6階南側のトイレの位置について意見を伺いたい。

(委員) 現在の南側トイレの位置は、中高年の利用が多いと想定される和室から若干遠い印象を受ける。

(事務局) 和室と国際交流サロンの位置を入れ替えることも可能である。6階南側には職員事務室があり、5階のトイレの位置との関係からも6階のトイレの位置は概ね図面に記載された場所に限定されるものと思われる。職員事務室と和室の間にトイレを設置することと、和室の位置にトイレを設置することについては実施が可能なかをコンサルタントに確認する必要がある。

(会長) 和室を移動することは可能なので、問題はトイレの位置である。6階南側のトイレは現在の位置かキッズスペースの位置への変更が考えられる。

(委員) 現在、キッズスペースは西側の壁際に置かれている。ここは、けやき並木が眺望できる場所なので、ここにトイレを配置するのはもったいないと考える。

(会長) トイレの位置については、原案の場所を基準とするが、扉の向きを検討していただくこととする。また、ホワイエの上にある吹き抜けの一部を、喫茶コーナーや交流ロビーの上に移動することも考えられる。なお、階段の位置は図面上の5・6階をつなぐエスカレーターの位置でよいか。

(委員) フロア中央に大きな階段を設置する必要があるのか。

(会長) 5・6階をつなぐ方がよいということであれば、目立たせるように階段をフロア中央に配置するのがよい。階段は、空間を遮るもので

はなく、つなげるものである。

(委員) 5・6階をつなぐための階段であれば、設置の必要性も理解できる。

(会長) それでは、トイレの位置については、図面どおりの配置とする。ただし、入口の向きなどについては改善を検討する。

エレベーターの位置については、図面どおりの配置とする。

5・6階をつなぐエスカレーターを設置する代わりに、階段を設置する。可能であれば、階段下に総合受付を設置する。

フロア中央の吹き抜けは図面どおりの配置とする。しかし、ホワイエ上部の吹き抜けについては、喫茶サロンやロビーの上に配置して、ガラス面からの採光を図ることとする。

なお、5・6階の機能を入れ替える旨の提案については、後日、改めて検討を行う。

2 その他

事務局から資料に基づき、本協議会の今後の開催予定について説明があり、異議なく承認された。また、来年度に委託するコンサルタントの選定については事務局に一任することと決定した。

続いて、会長より、府中NPO・ボランティア活動センターにおける運営上の課題等を協議に反映させるため、各分科会に府中NPO・ボランティア活動センターの職員がオブザーバーとして出席することについて提案があり、異議なく承認された。

また、委員より、議事録に発言者名等を記載することについて提案がなされ、次回の全体会で検討することとした。

次回の会議日程

2月14日（火）午後1時～

会場：府中駅北第2庁舎3階第1会議室

第6回府中市市民活動推進協議会

日 時 平成23年12月1日（木）

午後2時～

場 所 府中市役所北庁舎3階第4会議室

会議次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 会議録の確認について

議決事項

- 1 再開発ビルの施設計画の変更の検討に伴う公共公益施設のレイアウトの変更について
- 2 その他

平成24年度 市民活動推進協議会 開催予定

4月初旬 コンサル出席①、機能（詳細）の決定

[→ コンサル図面作成]

5月後半 コンサル出席②、図面の説明、図面の検討

6月後半 コンサル出席③、図面の説明、図面の再検討

7～8月 コンサル出席④、図面の説明、図面の再検討

9月前半 コンサル出席⑤、図面の最終確認

(4月～9月に施設管理者と施設の管理運営方法についても協議)

10月前半 図面を踏まえ、ソフト面の最終決定

11月 報告書提案、検討

12月 報告書再提案、再検討

1月 報告書最終確認